

令和元年度 長野県犀峡高等学校・篠ノ井高等学校犀峡校関東同窓会の開催について
(報告)

会長 山口繁実

令和という新しい時代を迎え、標記会合が開催されました。

期日 令和元年 6 月 1 日 (土)

会場 弘済会館 (東京都千代田区麴町)

日程 総会 午後零時から 30 分間

懇親会 午後 1 時前から午後 3 時頃

1 総会

開会の辞に続き、39 年度卒業の今井治江さんの音頭により、犀峡高校の校歌を全員で斉唱しました。その後、35 年度卒業の山口繁実関東同窓会長の挨拶がありました。

会長の挨拶では、元号が平成から令和に決定され、母校の卒業生の中には、大正、昭和、平成そして令和と四世紀にわたって活躍されている方々もいらっしゃると思います。今後どのような時代がやってくるのか楽しみと不安を感じる思いです。昭和 35 年度 13 回生として卒業した当時は、在校生は 450 名位いました。

今年の篠ノ井高校犀峡校は 9 年目になりますが、新入生は男子 10 名女子 2 名とのことです。在校生は 57 名とのことで少子化時代を実感しています。少人数であっても、先生方、地域の方々の努力により学業の充実はもとより地域との交流も積極的に行われているとのこと、又クラブ活動では、特にカヌー部の活躍が特筆できるとのことです。今年も募金箱を用意させていただきました。ご協力の程宜しくお願ひしますとの挨拶がありました。

次に御来賓の皆様からご祝辞をいただきました。

吉澤幸治本部同窓会長様からは、今年 4 月の総会で本部同窓会長として再任された旨のお話がありました。東京に来る機会は少ないのですが、関東同窓会への出席も 3 回目となります、お招きいただき有難うございます。特にカヌー部に対しては、同窓会そして同窓会の皆様の心暖まるご支援に生徒も大変喜んでます。学校の支援は同窓会が中心でしたが犀峡校デュアルシステムと協議会を通じて、生徒、企業、学校、地域の 4 者が協同して学業・社会体験を支援しています。

来年は犀峡校発足 10 年となりますので記念事業を行いたいと思っています。情報発信しつつ皆様のご支援をお願いしたい旨のお話がありました。

又、7 月には先輩方からお話を聞く会を高校で計画し、講師を派遣してもらっていますが、今年も宜しくお願ひしたいとの依頼がありました。

下島浩伸篠ノ井高校犀峽校副校長様からは、今年4月に長野県教育委員会から赴任して参りました。しばらく教育現場を離れていましたが生徒57名、先生方20名と一緒に学校運営をしていきたい旨、そして子供達一人ひとりの将来の夢の実現に向けて努力していきたい旨の抱負が述べられました。

今年3月卒業の生徒は4年生大学4名、専門学校等7名、県・内外への就職は5名で、進学と就職は、ここ数年の傾向として半々ということです。

先月から新入生との面談も始まり、今後は上級生とも面談をしていきたいとのことでした。また、6月中旬以降は各中学を訪問し、生徒募集に向けてPR活動をしたいとのことでした。

学校ではバラの花が咲き始め、その様子がホームページでも見られるとの話がありました。明日はカヌー一部の県大会があるのでお応援に行き、他のクラブ活動もバドミントン部、音楽部、美術・写真部、ボランティア部、と少人数ながらも、みな頑張っているとのことでした。学校教育のあり方も知識だけでなく体験を通して学べるような機会を設けたい。地域、同窓会の皆さまがバックアップしてくれているので非常に心強く、これからもご支援、ご協力をお願いします。学校の様子はホームページで紹介していきたいと思っていますとのことでした。

お祝辞をいただいた後、議事に入り平成30年度事業報告、会計報告、会計監査報告、が行われ特段質疑もなく全会一致で承認されました。

2 懇親会

昼食を兼ねた懇親会に入りました。

昭和28年度卒業の笠井忠一様の発声により乾杯をし、懇親会が始まりました。元応援団長の高沼重信（昭和41年度卒業）さんの指揮により犀峽高校応援歌を歌い、今井治江さんの指揮により信濃の国、故郷、を合唱し大いに盛り上がりました。

昭和26年度卒業の木村梅子様の中締めにより、盛大なうちに関東同窓会が閉会となりました。

最後となりますが、昭和48年度卒業の吉田昇様から、例年のごとく出席の皆様におみやげが用意されました。心からお礼申し上げます。又 総会、懇親会に多大なご協力をいただいた弘済会館の皆様にも厚くお礼申し上げます。

(広報担当 太田正孝)